


日本医師会生涯教育講座

テ ー マ	難治性気管支喘息の診断と治療
日 時	令和6年7月11日(木) 14:00~17:00
会 場	東京都医師会 (Webexによるオンライン開催)

座 長	東京慈恵会医科大学名誉教授 桑 野 和 善 先生	日医生涯教育制度 カリキュラムコード・単位
講演 1 (講演 60分)	<p style="text-align: center;">「重症喘息と診断する前に、重症喘息と診断したら —重症喘息の病態と病型—」</p> <p style="text-align: center;">東海大学医学部呼吸器内科学 教授 浅 野 浩 一 郎 先生</p>	CC:46[咳・痰]・1単位
講演 2 (講演 60分)	<p style="text-align: center;">「喘息治療の進歩と現状—重症喘息の治療体系を含めて—」</p> <p style="text-align: center;">帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 教授 長 瀬 洋 之 先生</p>	CC:79[気管支喘息・COPD]・1単位

取得単位	日本医師会生涯教育制度…合計2単位【カリキュラムコード：46、79】	
主 催	東京都医師会	
定 員	100名	
申 込 方 法 (事前申込制)	研修申込システムにて申込 http://study.tokyo.med.or.jp/publish/Login ◆お申込み方法の詳細は都医ホームページにてご案内しております。 ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。 申込締切は7月10日(水)です。	
問 合 せ 先	東京都医師会 広報学術課 【TEL 03-3294-8821(代) FAX 03-3292-7097】	

【難治性気管支喘息の診断と治療】

喘息治療の進歩と現状 —重症喘息の治療体系を含めて—

帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学教授 長瀬 洋之

喘息死は約 1,000 人/年まで順調に減少し、喘息増悪も減少している。その背景として、吸入ステロイド薬 (ICS) の高用量化や、気管支拡張薬である LABA との配合剤である ICS/LABA の普及が挙げられる。吸入抗コリン薬 (LAMA) の有効性も示され、ICS/LABA/LAMA の 3 剤配合剤も登場し、吸入療法は簡便になった。

加えて、重症喘息を対象として、IgE, IL-5, IL-4/IL-13, TSLP などを標的とした 5 種類の生物学的製剤が開発されてきた。これらの薬剤は、血中好酸球数や、呼気一酸化窒素濃度 (FeNO) が高値の症例で有効性が高く、喘息の表現形で治療を層別化する時代に入っている。

本講演では、喘息治療の進歩と現状の治療体系について概説したい。